

2014年1月31日

報道関係者各位
関係者各位

公益財団法人がんの子どもを守る会
理事長 山下公輔

国際小児がんの日 世界一斉キャンペーンのお知らせ

2月15日は「国際小児がんの日」です。国際小児がん親の会連盟（ICCCPO: The International Confederation of Childhood Cancer Parent Organizations）と国際小児がん学会（SIOP: The International Society of Paediatric Oncology）は、主に途上国での小児がんの早期発見を促すためのキャンペーンを世界に向けて一斉に展開いたします。

毎年、世界中で17万5千人の子どもたちががんと診断され、約9万人が命を落としています。小児がんは、初期段階で効果的に治療を行えば大半が寛解（病気の症状が一時的あるいは継続的に軽減した状態）します。日本をはじめとする先進国では、約8割の子どもたちが治療を終えることができていると言われていますが、途上国では、早期診断、情報へのアクセス、効果的な治療体制やケアの不足のため、7～9割の子どもたちの命が失われています。途上国と先進国の間にある、小児がん生存率の格差を解消するための基本的アプローチのひとつは、早期発見です。小児がんの早期発見キャンペーンは、SIOPとICCCPOが2012年に始めたもので、早期診断と適切な治療により、小児がんの過酷な治療による後遺症をある程度避けることも可能です。

1997年よりICCCPOに加盟している当会では、日本においてこのような世界の状況を伝えるだけでなく、同時に小児がんが子どもの病死原因の第一位であるにもかかわらず、まだ十分な支援体制がとられているとは言い難い日本の現状の改善にも寄与できると考え、2014年2月1日～3月14日をキャンペーン期間とし、全国的に次の活動をいたします。

■主な活動内容

- ・当会各支部による全国での啓発活動の実施
（街頭での啓発カード配布、募金や各種イベントなどの開催）－別紙1
- ・「国際小児がんの日」オリジナルTシャツの頒布（ご寄付の金額に応じて）－別紙2
- ・小児がんの現状を書いた啓発カードの配布及び設置－別紙3

つきましては、報道各位におかれましては、趣旨をご理解いただき、是非ともより多くの方にこのような現実を知っていただくためにご協力をいただきたく、お願い申し上げます。

尚、本件につきご不明な点などがございましたら当会までお問い合わせ下さい。

何卒宜しくお願い申し上げます。

同封資料：支部の活動一覧（別紙1）／Tシャツ頒布のチラシ（別紙2）／啓発カード（別紙3）

【このリリースに関する問い合わせ先】

公益財団法人がんの子どもを守る会

TEL：03-5825-6311 FAX：03-5825-6316

E-mail：nozomi@ccaj-found.or.jp

国際小児がんの日ブログ URL：<http://blog.canpan.info/nozomi/>